

株式会社ジェイコム東京 板橋・北局

2022年度放送番組審議会 議事録

1. 開催日時

2023年3月10日（金）10時より

2. 開催場所

東京都板橋区志村3-29-10

株式会社ジェイコム東京 板橋・北局

3. 出席者

委員長 : 高田修一様

委員 : (ご出席) 越野充博様、古平聡様、窪田みなみ様、阿部千里様
(ご欠席) 中川修一様、小熊大介様

事業者側 : 板橋・北局 局長 池田将人、板橋・北局 管理部 阿部亜希子
映像制作第一部 リーショナルマネージャー 関原真人、
足立事務所 拠点長 大河原明子

4. 新委員ご紹介

事業者側より、出席した委員全員の紹介があった

5. 委員長選出

高田修一委員長が全委員の賛同をもって選出された

6. 報告事項

事業者側から事業報告及び J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告

7. 議題（審議番組：『ジモト応援！つながるNews』）

各委員からは、審議番組に関して以下のような意見が出された

- J:COMで取り上げてもらいたい地域の情報や地域のお店などを紹介したいとき、窓口となるのはどこか
- 「情報をお寄せください」と言っても、なかなか投稿する人は少ないと思う。アプリ上で、ボタンを押すだけですぐ

に情報提供ができるような仕組みなどあれば良いと思う

- 板橋・北局として新しくスタート、また制作拠点も再編成されたのであれば、「番組を見てもらう努力」というものを改めて実行するべき。放送された番組をJ:COMの中でだけ活用するのではなく、一般の方も再利用（二次利用）できるようにするべき。Youtubeの普及など、これだけ発信がしやすくなった環境でなぜそれができないのか。J:COM 番組を見ることができる媒体が広がっていけば、情報提供や取材依頼も増えていくことに繋がると思う
- ニュースで放送した映像は、放送後 1 週間はアプリ上に残ってその後はデータを破棄しているのか。以降の使い道がないのであれば、二次利用できるよう取材対象者へデータを渡してしまってもいいのではないか
- より範囲を広げて、NHKや民放放送で板橋区・北区が取り上げられるときに、地域企業としてその番組の予告などを流すことはできないのか
- 最近のSNS活用の取り組みとして、ショート動画・リール動画などの、数十秒程度の短い動画がよく見られている。そうした短い動画につながるURLをQRコードにして、各種媒体に貼り付けるなどの告知方法も有効ではないか
- 権利関係の問題として、タレント・有名人が出演する場合と、J:COMの Reporter と一般の方のみが出演する場合と、分けて考えてみるべき。一般の方の権利問題については、番組制作時点でアーカイブとして残すことを前提に一定の部分についてはシンプルな作りとするなど、逆算して考え制作することでクリアになると思う
- 場合によっては有料で販売することなども考えていけばいい。地域住民からすると、J:COMで撮影したクオリティの高い番組やニュース素材は、ニーズがあると思う
- 地域の目線から考えると、「使える映像にすぐ手が届く」という状態がいいのだと思う。例えば北区のシティプロモーションをするときに、J:COMのアーカイブの中に北区の各エリアを取材した映像があったとして、それを自由に活用することでプロモーション映像に厚みを出すことができる。その動画を販売してもいいし、J:COMサービスのCMを入れ込んでもいいし、企業として利益獲得にもつながるような仕組みを作ることができるのではないか
- いち視聴者としても、やはり見たかった番組を見逃してしまうことはよくあるので、それらがインターネット上でまとまっていれば見やすくなっていいと思う。静止画でもいいので、どこかで過去放送を見ることができる媒体は現状あるのか。行政としても、15秒ぐらいのショート動画にニーズがあることは把握している。短い動画だけでも、一般視聴者が見ることができるようになるといいと思う
- まずは板橋・北局でトライアルとして数年間アーカイブ提供してみて、それが実際どのように使われているのかなどデータを取り、そこから費用感など改めて計算して値段設定すればいいのでは
- つながるNewsのレポーターの方が、手元資料を見過ぎだと感じた。放送上、もう少しうまく隠したり、カンペを用意したりなど対応できないのか。視聴者として少し気になった

事業者側からは以下の発言があった

- 取材希望がある場合は、すべて地域プロデューサーへ連絡頂いて問題ない。地域プロデューサーを窓口として、社内番組制作チームと連携して対応する。紹介した「ふくあじ」などは、東京全域の番組となるのですぐに出演できるかは検討が必要となるが、ニュースについては早い対応ができる
- 番組のHPに「情報をお寄せください」というページもあるので、そちらから情報提供いただくこともできる
- アプリ上では「映像を投稿して情報提供ください」というフォームは準備されている。だがもっと簡単に投稿できるような仕組みがあると確かに良いと思う。今後検討したい
- 映像アーカイブの件は、局から本社へも要望としてあげている。毎年ご意見頂いていて実現できておらず申し訳ございません。特にYoutubeの活用などは、すでに世の中から遅れている状況であると認識している

- アーカイブとして残すことについては、権利上の問題が大きい。権利をクリアする方法がない訳ではないが、そこまで対応できていないのが現状。他のエリアでも同様の意見は上がっているので、今後対応していきたい
- 板橋区・北区に住もうと思っている方々に対して、地域紹介動画をまとめて見るができるようになれば、どんな街であるかイメージを持ってもらいやすいなどの利点もある。数年にわたってご意見を頂いていて、まだ実現できていないという状況を真摯に受け止め、対応していきたい
- 現状のニュースのアーカイブ映像は、放送終了後1週間しか見ることができない。J:COMの自社サービス商品を販売する中で、Web上のプロモーションでは動画を活用している。動画制作の費用もかかっているので、意見をいただいたように動画を販売するといったという手段であれば今後実現できると思う。若者世代へのプロモーションとしては有効だと思う
- 東日本大震災の被災者の方のコメント映像は、どなたでも見られるような状態でYoutubeにアーカイブとして残している。同様のパターンとして、視聴者の方が見たいときに見られるように映像を残しておくことは価値があると考えている

8. その他の番組、放送に対するご意見

委員から以下の意見があった

- 行政として情報発信の強化に努めているが、行政の力だけでは行き届かないことがある。そのような部分で、J:COMのメディアを活用できて助かっている。特に今年度の花火大会は、コロナ禍ということもあり観覧席数を限定した開催となったが、J:COMで放送されたことで広く区民に見てもらうことができたと思っている。引き続きの協力をお願いしたい

事業者側から以下の発言があった

- 現地に観客が押し寄せることを防ぐため、番組の周知は開催直前となってしまった。そんな中でもTwitterなどで番組が広がり、反響は大きかった。都内他地区での花火大会が軒並み中止になっていたこともあり、注目度が高いイベントを放送できたことはJ:COMとしても地域貢献に繋がったと思っている

委員から以下の意見があった

- ベレともの収録で、日テレ・ベレーザと城北信用金庫所属アスリートと一緒に出演する放送回があった。この回は城北信金の職員や、サポーター、チームスタッフからの評判もとても良く、アプリでも一定期間しか見ることができないことが残念。やはりアーカイブとして、動画が再利用できるようになるといいと思う
- 西が丘の球場で、ホームゲームの試合が始まる前にベレとものを放送すればいい宣伝になるのではないかと

事業者側から以下の発言があった

- 最近は、「見たい番組を自分から見に行く」というスタイルが定着している。その視聴方法にJ:COMも合わせていかなければならない、というご意見をいただくことができて良かった

- J:COMは、「番組を作って放送する」というところまでの対応で終わっているのが現状。二次利用やアーカイブなどをビジネスとして推進することにニーズがあることが分かったので、検討していきたい

委員から以下の意見があった

- 高校野球の特番はやっていると思うが、高校サッカーの予選会などは放送できないのか。権利上難しいのか
- 東東京大会と西東京大会と分かれているが、どちらも見ることができるようにならないのか
- 生中継を両エリア分放送するのは難しいかもしれないが、アーカイブとして後で見ることができるようにできないのか

事業者側から以下の発言があった

- 権利の問題ではない。野球などスポーツに限らず学生の文化活動など、取り上げられるテーマは多岐に渡るが、すべてを網羅することは難しい。高校野球については、長年東京エリア全域の施策として実施継続している
- 「地元の学校を応援してほしい」という根底の思いがあるので、現状は東西で分けている
- 「バーチャル高校野球」という全国の高校野球地方大会の試合を見ることができるWebサイトがあり、そこにJ:COMから映像提供をしている。Web上であれば、どの試合も見ることができるようにはなっている

委員から以下の意見があった

- 東洋大学が3,000人規模の体育館の設立を予定していたり、大東文化大学も100周年を迎えさまざまな取り組みを予定している。北区・板橋区とカテゴライズせずに、両区合わせて地域のスポーツ選手を応援するといった取り組みをすればいいのではないのか。行政が指揮を取って対応することなどはできないのか

事業者側から以下の発言があった

- 板橋区の成増ヶ丘小学校が、レゴの世界大会に出場するというニュースがあり、取り上げたことがある。地域内の各学校の特色ある取り組みは、今後もニュースで積極的に取り上げていきたい

9. 池田局長よりお礼とご挨拶

長年同じご意見を頂いている状況があるので、今年こそ実現できるよう取り組んでいきたい。日頃からお会いする委員の方が多いので、厳しいお言葉・ご意見は今後とも頂戴したい

以上